

祈りの人 ダニエル²

ダニエルは波乱に満ちた人生の中で、確実に与えられた使命を果たしました。

彼の使命は、捕らえ移された国の中枢、王たちの側に居て、神に依り頼みながらイスラエル人たちを導き、守り、70年後のエレミヤの預言の成就を見届け、解放されたイスラエルの民を、カナンの地に送り出す事でした。

新バビロニア帝国の王朝は一夜の内に滅び、ペルシャとメディアの新しい王に入れ替わりました。激動の時代の真只中で、ダニエルは忘れられようが、重く用いられようが、また、ライオンの穴に投げ込まれようが、微動だにしませんでした。ただ自分の王である天地の神に仕え、信じ従い続けるのみです。

神を絶対的に信頼して動かない彼の信仰は、日々の絶え間ない神様との交わりを通して作られました。そして彼の言動は、異教の神を信じる者たちの心をも捕らえ、真の神の存在を証しし続けたのです。

メディア人の ダレイオス王

ペルシャのキュロス王の部下で、バビロン州の王に任命されたというのが有力な説であるが、確証はない。

新バビロニア帝国の滅亡

ペルシャとメディア連合軍は帝国の不満分子を攻略し城門を開けさせ侵入。王を排除し占領し、乗取った。

聖書の学び

I、高ぶる者を退けられる神

1、BC562年、ネブカドネツアル王の死後、ベルシャツアル王は大宴会を開いて何をしましたでしょうか？
(ダニエル書5:1～4)

- ①エルサレムの神殿で神のために聖別されていた器で酒を飲んだ。
- ②偶像の神々を賛美した。

2、突然、宮殿の壁に現れた指により書かれた文字は、何でしょうか？
(ダニエル書5:5～28)

- ①突然の出来事の原因は、ベルシャツアル王が高ぶった事による (ダニエル書5:22～24)
- ②「メネ、メネ、テケル、ウ・パルシン」神様からの警告。 (ダニエル書5:25～28)
- ③ベルシャツアル王は、二ネベの王が預言者ヨナの警告に悔い改めて滅びを免れたように、悔い改めなかった。 (ヨナ書3:5～10)

3、その夜、何が起きたのでしょうか？ (ダニエル書5:30～31)

Ⅱ、神の前に生きる人

当時ダニエルは70代後半、 「太守」とは、ペルシャ人の役人

1、ダレイオス王はダニエルをどのように用いましたか？

- ①三人の大臣の1人にした (他の2人はペルシャ人の大臣) (ダニエル書6:2)
- ②全国の長にしようと思った… 彼のうちにすぐれた霊が宿っていた
(エジプトの宰相ヨセフのよう) (ダニエル書6:2)

2、ダニエルを陥れようとした人たちはどうしましたか？

- ①欠点を探したが見つからない (ダニエル書6:4)
忠実で、怠慢や欠点がない・・・若いときから、神の御前に生きて来た。(Iテモテ4:8～15)
- ②彼の神の律法(十戒) による口実 (出エジプト20:3～5)
- ③断固たる禁令を出し、変更されないように王の署名を願った。(ダニエル書6:6～9)
30日間、王以外に拝むと獅子の穴に投げ込む

Ⅲ、天地の神に仕えるダニエル

(ダニエル書6:10～28)

1、そのことを知ったダニエルの行動はどうでしたか？… 日々の祈り (ダニエル書6:10)

2、獅子の穴でのダニエルの様子 (ダニエル書6:21～22)

- 1) 神の前に潔白に生きた→ → → 獅子の口を御使いが塞いだ (ダニエル書6:22)
※罪の無い人はいないが、いつも光の中を歩む… Iヨハネ1:6～9

2) ダニエルの神への信頼→ → → 何の傷もない (ダニエル書6:23)

※あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ… 詩篇37:4～5

3、ダレイオス王の真の神への信仰告白

- ①ダニエルの神こそ生ける神 (ダニエル書6:26)
- ②この方は人を救って解放される。 (ダニエル書6:27)